

令和 5 年 9 月 30 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…小規模多機能型居宅介護 ひびすくす

サービス種類…地域密着型サービス

会議開催日…令和 5 年 9 月 29 日

開催場所…ひびすくす ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	1 人
利用者家族	人	地域代表者	人
松江市職員	1 人	包括支援センター	人
知見を有する者	人	その他 ()	人

議事

活動状況報告

※別紙報告書参照。

意見交換

※別紙議事録参照。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	

小規模多機能型居宅介護 ひびすくす 運営推進会議報告書(8/9月)

R5年9月29日現在

・利用定員

登録 27 名 (男性 6名 女性 21名)

新規登録者 6 名 (8/1～)

・平均介護度 1.81

・平均年齢 85.6 歳

要支援 1 3 名

要支援 2 3 名

要介護 1 8 名

要介護 2 5 名

要介護 3 5 名

要介護 4 3 名

要介護 5 0 名

●行事について

8/4(金) 誕生会 (涼やか和菓子でお祝い)

8/23(水) お楽しみ昼食会 (元気もりもり御膳)

9/15(金) 外出行事 (松江歴史館・喫茶)

9/26(火) 敬老会

●活動状況

8月

- ・8月誕生会：桂月堂・福田屋の季節限定の涼やかな和菓子を準備し、お煎茶で楽しめました。主賓のお二人の人生年表を作成し、昭和～平成～現在に至るまでの道のりを、日本や地元の出来事とリンクさせながら、皆さんと振り返りました。ご利用者様より沢山の経験談を教えてください、昔を懐かしみながら、しみじみとした雰囲気でお祝いをさせていただきました。
- ・お楽しみ昼食会：「元気もりもり御膳」と題して、うな重やカツ丼をご準備し、旬のシャインマスカットや初物の二十世紀梨を添えて提供しました。準備の段階から、お品書きを習字でご利用者にしたためて頂くなど、雰囲気作りから行いました。
当日はみなさま大変喜ばれ、蓋を開けては歓声を上げて拍手や笑顔で喜んでいただき、職員も大変嬉しかったです。みなさま、しっかり完食されました。

9月

- ・外出行事：松江歴史館へ外出しました。初めて歴史館へ入られた方がほとんどで、松江城の築城VTRの大画面で上映では、「うわあー！」と感嘆の声を上げて楽しめました。「こんな近くに、こんな素晴らしいところがあったんだね」としきりと感心されていました。
観覧後は、館内の喫茶店で出来立ての生菓子を自分で選んでもらい、好きなお茶で満喫され

ました。久しぶりの外出で、高揚感もあり良い外出でした。

- ・敬老会：施設内の飾り付けは、ご利用者様にお手伝いしてもらいながら行いました。当日は一文字屋さんと協議を重ねた献立でお弁当を準備し、敬老御膳として提供しました。今年は上寿（101歳）と米寿のご利用者様を主賓としてお祝いさせていただきました。主賓のお二人をクローズアップしてスライドショーを上映したり、その人生を振り返ってお言葉を頂戴しました。職員による余興では、よさこい踊りを披露し、ご利用者様方に温かく見守られ、沢山笑って頂きました。

●今後の活動・レクリエーション予定

10月外出行事：外出行事、ハロウィン誕生会等。

●ヒヤリハット・事故報告

ヒヤリハット

- ・K様：歩行器なしで居室からホールへ出て来られる。
⇒精神面繊細な方なので、出来る限り優しく声かけするよう努める。本人へ了承頂き、居室の扉を少し開けて動かれたらすぐ駆けつけられるように注意する。
- ・M様：新規利用の方。靴のかかとを踏んだまま移動される癖があり、フラツキが心配。
⇒だんだん環境に慣れてこられ、職員ともコミュニケーションが良好になってきた。靴の履き方も良い。一人がさみしいと感じる方なので、午睡の時間だからと言って居室で無理に横になってもらうのではなく、ホールで好きな塗り絵などして自分らしく過ごして頂くのも良い。
- ・多目的トイレにて：便座下の床が尿で濡れたままになっていた。不衛生だし、滑ると危ない。
⇒濡れている事に気づいたら、すぐに掃除する。排泄の失敗リスクのある方のトイレ使用中は、様子をそっと伺ったり、トイレ後の状況を失礼のないように確認する。

事故報告

転倒が2件起こった。大きな怪我には至らなかったが、いずれも新規のご利用者様が一人で居居室におられる際、ベッド下の床へ転倒される事故。慣れない環境で、ベッドの使用自体がはじめての方でもあり、注意・危険予知に欠けていた。安否確認表を作成し、定期的なラウンドを2週間程度実践し、現在は安定まで確認できている。

●職員研修、スキルアップ関係

10月に防火管理者新規講習（甲種）が予定されている。

認知症研修、法令順守研修、感染予防研修等予定している。

●8、9月について

新規ご利用者の方については、包括支援センターや急性期病棟からのご紹介が今回は多くありました。特に、ご自宅で一人暮らしが限界に来ている方については、実際にケアに入らなければお家での生活実態が分からないので、改めて在宅の難しさを感じています。利用が入って初めて、重度の褥瘡が発見されたケースもありました。

周辺地域には、一人暮らしが老々世帯のお宅が多くあります。包括支援センターからのご紹介は、その中でも困難ケースであることが多いです。当施設のサービスに繋がらなくても、一つ一つの関わりを丁寧に対応することで、今まで介護支援を受けたことがない方々にとって、生活の質の改善においての小さなきっかけになれば、地域に貢献できるのではないかと思います。

また、感染症関係については、現在、新型コロナに加えてインフルエンザが猛威をふるっており、地域の小学校で次々と学級閉鎖等対応されています。職員自身はもちろん、職員の家族についても、抗原検査キットを配布し、感染には十分に気を付けています。万一、自身や家族に発熱や体調不良があった際には、上司にすぐ連絡して受診や検査に繋げる対応としています。これから、天候も落ち着いてくる季節となりますので、外への散歩や外出行事、地域催しなどの積極的な参加に努めてまいります。